



伊藤 文博  
議員  
計画策定委託、設計業務委託の適正化について

計画策定委託、設計業務委託の適正化について

るなど、委託先の選定についての課題が明らかになってきている。

質問 ジオパーク戦略プランの策定や山ノ井保育園改築の設計委託において受託者の資質に疑問が感じられるケースもある

基本的には、地元のことをよく知る地元の業者や市職員

などが、地元を思う気持ちを生かして、計画策定や建築設計に当たることが理想と考えるのだが、現行の委託業務に関する

わる入札制度は適正と考えているか。また、委託業務の間でのチェックや協議体制は整っているか。専門分野の職員の一層のスキルアップも必要ではないか。

市長答弁

委託業務については、規則等に基づき適正に執行している。市内業者を優先とする公募条件を原則としているが、業務内容によっては市外業者へも公募条件を拡大している。また、

事業者側の提案や技術力などを重視する場合にはプロポーザル方式により落札者を決定する場合もある。

委託業務の途中においても、委託期間内にプランや図面等の確認を求める機会を設けており、内容によっては庁内協議等を行っている。

職員のスキルアップについて

は、専門研修への積極的な参加を促すとともに、資格取得に係る助成制度やOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)実務を通じて、必要な技術、知識等を身に付けさせる教育訓練のこと)の活用などにより、さら

なる取り組みを進めていく。委託業務の完成検査方法については、担当課で成果を確認し完了と認めた業務について、設計図書及び業務仕様書と照合して完成検査を行っているが、成果品の評価までは行っていない。今後、成果品の評価方法についても検討したいと考えている。



田中 立一  
議員  
並行在来線について

並行在来線について

質問

新幹線開業に伴うJR北陸本線等の経営分離のため、新潟県並行在来線株式会社設立されて1年が経過したが、同社が「北陸本線はディーゼ

ル車での運行を基本」とする案を示していることについて、そのメリットや課題について伺う。

また同社は、富山側への乗入れは「泊駅折り返し」を想定しているようだが、利用者への影響についてどう考えているか。

市長答弁

ディーゼル車のメリットは、1両での運行が可能なことから乗客数に見合う保有台数で済むことや、貨物調整金(JR貨物が第三セクターに線路使用料として支払う原資の一部)のアップが期待できること等である。課題は、電車と比べ維持管理費が割高なこと、運転員の確保が難しいこと等が挙げられる。

また、泊駅での折り返し運行については、泊駅以西へ向かう場合に乗り換えが必要となるが、ダイヤの調整や一部列車の富山方面への運行により、あ

る程度の利便性は確保できるのではないかと考えている。

防災について

質問

東京電力柏崎刈羽原発の重大事故を想定した県の原子力防災対策見直し素案に対し、圏域対応格差について市町村から懸念が示された趣旨の報道があったが、素案に対する市の捉え方はどうか。また、北陸電力志賀原発(石川県羽咋郡志賀町)の事故時に対する考えはどうか。

市長答弁

原子力発電所の事故対策は、発電所との距離で判断するべきではないと考えている。気象条件や地形的条件等も考慮する必要がある。全県的な防護対策や資材・機材等の整備も必要と考えている。また、志賀原発についても同様に対応する必要があると考えており、県内市町村における研究会等で検討していきたい。

《その他質問項目》

・絵本のまちづくりについて